

【リデル調査】「よくあるステマ依頼5選」人気インフルエンサー達がリアルに選出！

『ステマ規制』施行後、35%減少する一方で、未だに蔓延るステマ依頼が明らかに。

ステマ規制施行後の「企業からインフルエンサーに対するステマ依頼」に関する実態調査

SNS・インフルエンサーマーケティング事業を展開する LIDDELL 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：福田 晃一、以下リデル）は、インフルエンサーを対象に、ステマ規制施行後における企業などからの「ステマ依頼」に関する調査をしました。

その結果、『ステマ規制』が施行された 2023 年 10 月以降、35%のインフルエンサーがステマ依頼は減ったと感じている結果となりました。また 15%のインフルエンサーはステマ依頼が増えたと感じており、追加調査をした結果、ステマに対する知識・理解が向上したことにより、これまでより気がつくようになったと感じていることも明らかになりました。

そこで、今まで「気づけなかった・大丈夫と言われた・押し切られていた・判断が難しかった」と思うような依頼をインフルエンサーにピックアップしてもらいました。

LIDDELL

SNSで活動する

インフルエンサー  
クリエイターに  
聞いた！

ステマ規制・開始後3ヶ月！

## その依頼、ステマになっていない？

“ サンプルングはPRではないので、「#prなしで」投稿してください。prつけたら今後の依頼に影響しますよ！



“ インフルエンサー限定で招待のイベントで同行された方が投稿する際には、広告表記は不要です。



“ 商品が気に入ったら、タイアップ投稿後、感想をオーガニックでぜひ投稿してください。



人気インフルエンサーがリアルに選出！

よくある

企業・代理店からの

ステマ依頼

5選

ステマ規制後、ステマ依頼が「減った」と感じているのは35%。

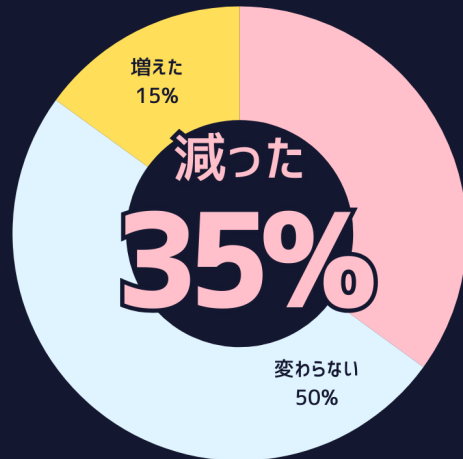
15%が「増えた」と感じているが、リテラシーが向上したことで「気が付くようになった」

## 2023年10月以降、企業からインフルエンサーに対するステマ依頼の増減

Q. 23年10月以降、ステマ依頼の増減はありましたか？

ステマ規制施行後  
**35%がステマ依頼が減った**  
と感じている。

一方で、  
**15%が増加した**  
と感じている。



LIDDELL

ステマ規制施行後の「企業などからインフルエンサーに対するステマ依頼」に関する実態調査  
調査時期：2023年11月 | サンプル数：100 | 調査方法：オンライン  
対象者：SNSで活動するインフルエンサーやクリエイター

ステマ規制がスタートした2023年10月以降、「ステマの不安や懸念がある依頼」の増減について質問したところ、35%が「減少した」と回答し、規制による一定の効果がみられる結果となりました。

一方で、15%が「増加した」と感じていることも明らかになりました。

ステマ依頼が増えたと感じているインフルエンサーに「増加した」と感じる理由を聴取したところ、「ステマ依頼の可能性がある」と気が付けるようになった。との回答が大半を占めており、インフルエンサー自身のステマや規制に対する知識が深まっていることが窺える結果となりました。

<気づけなかった・大丈夫と言われた・押し切られていた・判断が難しかった>  
よくある「ステマ依頼」5選

よくある

## 企業・代理店からの ステマ依頼 5選

1

### ギフトینگは PRではない

企業からのギフトینگなので、PRではないからPRを付けなくていいと言われていました。

2

### 罰せられないから 大丈夫

PRを付けなくてもインフルエンサーではなく、罰せられるのは企業だから心配しなくていいですよと言われています。

3

### オーガニックで 投稿して

タイアップ投稿後、この商品を気に入っていただけたら、感想をオーガニックで投稿してください。とお願いされることがあります。

4

### イベント同行者は 広告表記不要

インフルエンサー限定で招待のイベントで、同行者にも投稿内容を指示されましたが、広告表記の指示はありませんでした。

5

### 今後仕事は 紹介しません

PRを付けたら今後仕事は紹介しないと、代理店数社から言われています。

LIDDELL

ステマ規制施行後の「企業からインフルエンサーに対するステマ依頼」に関する実態調査  
調査時期：2023年11月 | サンプル数：100 | 調査方法：オンライン  
対象者：SNSで活動するインフルエンサーやクリエイター

「ステマを依頼されている可能性がある」と思われる依頼についてもヒアリング。回答の中で「大丈夫と言われた」「押し切られていた」「判断が難しかった」とインフルエンサーが感じた、よくある「ステマ依頼」を、先日、消費者庁表示対策課長 高居 良平氏をゲストに招いて実施した『インフルエンサーのための「ステマ規制解説&対策」セミナー』で伺った解説とともにご紹介いたします。

インフルエンサーのための「ステマ規制解説&対策」セミナーのアーカイブ動画はこちら

<https://service.liddell.tokyo/news/3781/>

#### 1. 企業からのギフトینگなので、PR ではないから PR を付けなくていいで投稿してほしい。

ギフトینگやサンプリング（無償で商品を提供すること）であったとしても、下記に当てはまる場合は広告表記が必要です。

- 投稿を依頼する（発注者・受注者の関係がある）
- 宣伝・販促活動を目的に商品やサービスを提供した
- 依頼者が投稿内容に関与した（内容に関する指示や依頼をした）
- 提供された商品やサービス以外にメリットやデメリットを提示した

上記のケースでは、「投稿してほしい」と明らかに投稿を依頼しているので、「広告」「宣伝」「プロモーション」「PR」より1つ以上記載する広告表記か、「〇〇社から▲▲を提供/招待された」と関係性を示すことが必要です。

**2. PR を付けなくてもインフルエンサーではなく、罰せられるのは企業だから心配しなくていいと言われました**

現在、ステマに関する法規制の罰則対象は企業（広告主）ですが、炎上などの火の粉が自分にもかかってくる場合があります。何よりフォロワーの信頼を失うことはインフルエンサーとして大問題。さらに今後、ステマに加担したインフルエンサーやクリエイターも罰則対象になってしまう可能性もなくはないと思います。

**3. タイアップ投稿後、この商品を気に入っていただけたら、感想をオーガニックで投稿してください。**

タイアップ投稿のために提供されたアイテムを使っている間は、「〇〇社から提供を受けました」などと表記してください。また、このケースの場合は、前述の通り「投稿してください」と依頼しているので、広告表記が必要となります。

**4. インフルエンサー限定ご招待のイベントで、同行者にも投稿内容を指示されましたが、広告表記の指示はありませんでした。**

このケースは同行者ですが、依頼者が「投稿内容に関与」しているため、「#pr」などの広告表記か「ご招待されました」などの関係性の記載が必要です。また、誰もが参加できるのではなく「インフルエンサー限定ご招待のイベント」は提供されたサービス以外に「メリット」を提示したことに該当します。

**5. PR を付けたら今後仕事は紹介しませんと、代理店数社から言われています。**

「PR を付けたら今後仕事は紹介しません」は、「デメリット」を提示したことに該当します。インフルエンサーは、このような依頼をされた場合には、お断りしてください。

以上、今回の調査により、ステマ規制を機にインフルエンサーのステマに対するリテラシーが向上し「ステマに加担しない」意識が高まっている傾向が伺えました。中には、SNS で「ステマではないか」と話題になっているのが散見されるので、企業は注意がより一層必要です。

**ステマ規制以前よりも、強く求められるオーセンティシティ。**

**嘘がない、等身大な姿勢が信頼され評価される。**

ステマ規制がスタートしてから、インフルエンサー施策に躊躇されている企業が見受けられます。一方で、ステマ規制を深く理解し、コンプライアンスを遵守しながらオーセンティックに SNS ・インフルエンサーマーケティングを展開している企業は、競争が沈静化している市場において、独占的に高い効果を発揮している事例もあります。

消費者庁ステマ検討会への協力実績を誇るリデルは、蓄積された知見を活かしつつ、常にアップデートしながら、SNS ・インフルエンサーマーケティングのパイオニア企業として、インフルエンサーの真価の発信とクリエイターエコノミーを支援し、経済活性化に寄与してまいります。お気軽にお問い合わせください。

<調査概要>

- インフルエンサーの「ステマ規制施行後の企業などからのステマ依頼」に関する実態調査
- 調査時期：2023年11月
- サンプル数：100
- 調査方法：オンライン
- 対象者：SNSで活動するインフルエンサーやクリエイター

【本件に関するお問合せ】

リデルでは本プレスリリースに関する内容のほか、「SNS・インフルエンサー」「ファン・コミュニティ」「コミュニティ AI」関連の市場動向、トレンド、ナレッジ、各種データなどを共有すると共に、ご取材を積極的にお受けしております。また、弊社役員や専門スタッフ、インフルエンサーに関するご取材も承っております。お気軽にお問い合わせください。  
ご連絡を心よりお待ちしております。

リデル株式会社

担当：貫（ぬき）

メール：pr@liddell.tokyo

-----  
[LIDDELL INFLUENCER WORKSPACE / LIW]

SNS 施策がオールインワン！運用型の SNS・インフルエンサーマーケティングプラットフォーム

URL：<https://service.liddell.tokyo/>

[KAL /カル]

業務最適化やコミュニティ AI に。社内情報を学習した、自社プライベート生成 AI の提供

URL：<https://liddell-tokyo.studio.site/>

[インフルエンサー・アワード・ジャパン：インフルエンサーの感性や才能を応援し、その影響を称える。]

第8回 IAJ 特設サイト：<https://lp.spirit-japan.com/iaj/2023/>

<Information>

- 【インバウンド対策】訪日客向け SNS 多言語対応開始

URL：<https://service.liddell.tokyo/notice/2702/>

- 【WWDJAPAN ×リデル】ステマ規制理解促進コンテンツ「もしかしてステマ？」大募集

URL：<https://service.liddell.tokyo/notice/2641/>

- 【ファン・コミュニティ戦略】戦略から日々の運用までシステムとノウハウで遂行

URL：<https://service.liddell.tokyo/notice/2504/>

[企業情報]

会社名：リデル株式会社/LIDDELL Inc.

代表者：代表取締役 CEO 福田 晃一

本社：東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー12F

事業内容：人の影響を活用したマーケティング戦略支援および運用サービスを提供

- (1) SNS・インフルエンサーマーケティングプラットフォームの運営
- (2) ファン・コミュニティマーケティング戦略および実行支援
- (3) 生成 AI・WEB3 マーケティングおよびシステム開発

コーポレート URL：<https://liddell.tokyo/>

採用に関して：<https://www.wantedly.com/companies/liddell/>

**【本件に関する報道関係のお問合せ】**

リデル株式会社 担当：貫（ぬき）

メール：[pr@liddell.tokyo](mailto:pr@liddell.tokyo)

電話：03-6432-9806